

2021年度秋学期 留学生のためのアカデミック・リテラシー養成講座 受講案内 (案)

国際教育センター

- 1 日 時 10月14日、21日、28日、11月11日、18日、25日、12月2日 (全7回・木曜3時限)
- 2 場 所 Zoomによるオンライン講義
(対面形式での実施については、コロナウイルスの感染状況を注視しながら決定します。)
- 3 受講料 無料
- 4 定 員 15名程度 (先着順)
- 5 対 象 次の①または②のいずれかの者のうち、全7回とも出席できる者
① 学部または大学院の正規課程に在学する外国人留学生
② 大学院外国人研究生
- 6 申込方法 所定の申込書をメールまたは郵送で国際プラザ事務室に提出
 - (1) 受付期間 9月22日(水)～~~10月5日(火)~~ **10月7日(木) 必着 ※締切延長しました**
 - (2) 提出先 国際プラザグループ (〒565-0855 吹田市佐竹台 1-2-20 Email: ku-jpn@ml.kandai.jp)
 - (3) 許可発表 10月8日(金)に、インフォメーションシステムの「個人伝言」で発表します。
- 7 注意事項
 - ① 本講座は授業科目ではありませんので、単位は与えられません。ただし、本講座を全回出席した学生には受講修了書を授与します。
 - ② 本講座では、随時課題を提供します。受講生には積極的な取り組みを求めます。
 - ③ 関西大学講義収録・配信システムで講座内容を配信するため、本講座は録画します。

講義内容 <講師：坪田珠里 留学生別科特任常勤講師>

大学・大学院生活の中では、プレゼンテーションを行うことが求められます。「人前で発表することがなんとなく苦手・・・」「質疑応答の時、どんな質問をすればいいかわからない・・・」という悩みはありませんか？この講義では、留学生のみなさんが、アカデミックな場面でプレゼンテーションを行う際の、注意すべきポイントをまとめて学びます。プレゼンテーションに適した文章表現や言葉選びについてより知識を深め、「分かりやすく・説得力のある」プレゼンテーションを行うにはどうしたらよいか、コース参加者みんなで考えながら、「調査報告型」のプレゼンを作ることを目標とします。

<第1回>これまでのプレゼンテーションを振り返り、改善を考える

これまで自分が行ってきたプレゼンテーションやスピーチを振り返り、何が苦手でどのようなことを改善したいのかについて仲間と共有します。また、アカデミックなプレゼンテーションの種類について学び、プレゼンテーションを聞く人・見る人の立場に立って、どんなプレゼンテーションが分かりやすいのかを考えます。

<第2回>見やすいスライド作りのコツ

パワーポイントを使って発表をする時、どんなことに注意すれば分かりやすい資料になるでしょうか。視覚的に見やすいデザインの他、見出しと項目、箇条書き、階層構造について学びます。

<第3回>図や表を説明する

プレゼンテーションでは、視覚的に適切かつ効果的な資料として、図表が多く使用されます。図表の読み取りの他、図表の作成、引用、参考の仕方を練習します。

<第4回>アカデミックな場面の4種のプレゼンテーション

アカデミックな場面で行われる、(a)方法説明、(b)情報提供、(c)意見表明、(d)提案提言、という4つの形式のプレゼンテーションの特徴と構成の仕方を学びます。(b)情報提供型のプレゼンテーションを実際に自分で作成し、発表の練習をします。

<第5回>社会調査とアンケート

オンライン・アンケート調査を作成・実施します。その結果から何が読み取れるのか、参加者でディスカッションしながら、「調査報告型」のプレゼンテーションの作成を目指します。

<第6回>質疑応答のスキル

アカデミック・プレゼンテーションに、質疑応答はつきものです。質問者としての心得(質問の目的と丁寧度や特有の前置き表現等)と、回答者としての心得(状況に応じた回答の仕方や対人関係への配慮等)を理解し、適切な日本語表現で質疑応答ができるようになりましょう。

<第7回>発表の実践と振り返り

パワーポイントを使って、「調査報告型」のプレゼンテーションをします。自分の苦手な点・改善点を克服できるような機会にしましょう。

<本講座は、日本語・日本文化教育プログラム学習支援コースの一環として実施します。> 以上